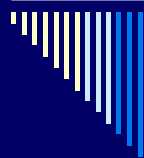


岡山大学学術成果リポジトリの 事例報告

- 岡山大学学術情報部情報管理課
電子情報係長 北條充敏



報告会内容

- 17年度委託事業(岡山大学)の概要
- 本学の研究動向とリポジトリ
- 岡山大学学術成果リポジトリ
システム選択
システム構成
Digital Commons@紹介
InfoLib-PMH紹介



17年度委託事業の内容

- 本学紀要類、学術刊行物の電子化
 1. 選定基準の策定
 2. 学内発行7誌を選択
 3. 初号から最新号
電子化とメタデータ作成
- リポジトリシステムの構築
 1. システム構成の検討、選定
 2. インストール等
- リポジトリ登録の啓蒙活動
 1. パンフレット作成
 2. 説明会



平成17年度リポジトリ登録対象誌

現在刊行中20誌から選定基準(英文査読誌、発行状況、公開状況)を設けて、教育学部、理学部、医学部、農学部、資源生物科学研究所が発行する合計7誌を平成17年度登録対象誌として選定した。

英文査読誌

1. Acta Medica Okayama (Pubmed収録誌)
2. Math. J. of Okayama Univ. (MathSciNet収録誌)

日本語紀要類

3. 研究集録 / 岡山大学教育学部
4. 教育開発センター報告
5. 岡山大学農学部学術報告
6. 岡山大学農学部センター報告
7. 資源生物科学研究所学術報告

英文査読誌及び紀要類の 電子化とメタデータ作成

- 電子化(PDF作成)
製本しているものは外部委託
未製本の場合は図書館でスキャン
解像度400dpi、白黒2値で作成
カラー頁は、カラーで作成
- メタデータ作成
パンチ入力は外部委託
CSV形式で作成
DCMI項目に準拠して作成
- リポジトリへの登録
著作権処理の完了している論文については、図書館で登録を行った(一部、登録中のものもある)。

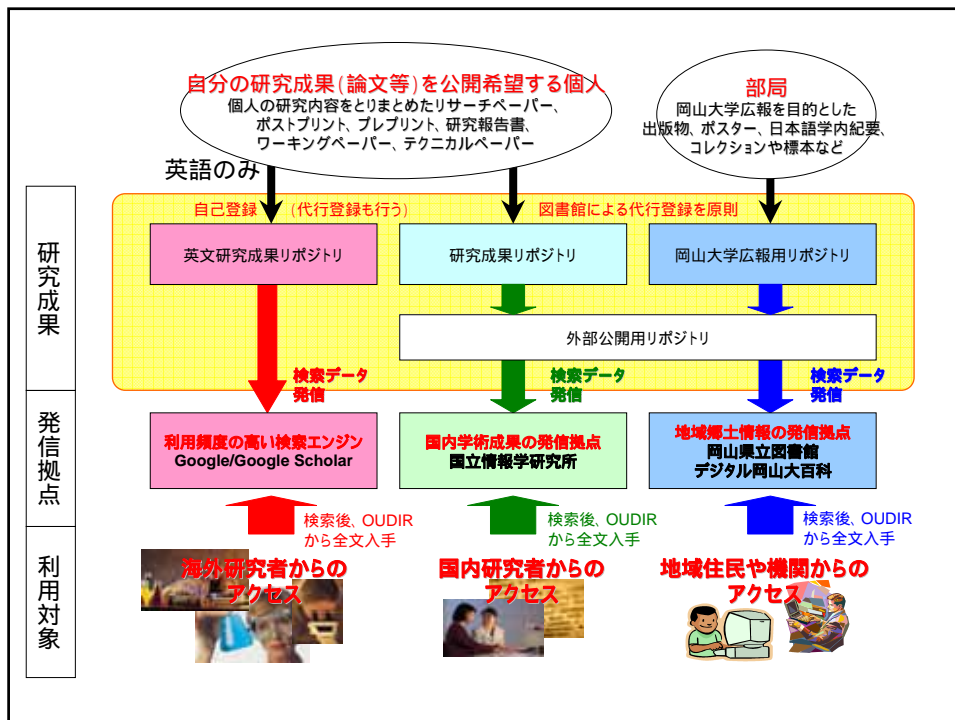
岡山大学学術成果リポジトリ



Okayama University
Digital Information Repository

本学の研究動向とリポジトリ

- ESIを活用して本学研究動向を分析
- 10分野において機関別トップ1%ランクイン
- 世界、国内で特別に抜き出た分野がない
- 基礎自然科学は研究促進支援が必要
- 引用を呼ぶ世界的な研究活動促進が課題
- 本学の研究内容を世界に広めたい
- 海外研究者からの可視性を高めたい
- 大学成果を地域に情報発信したい



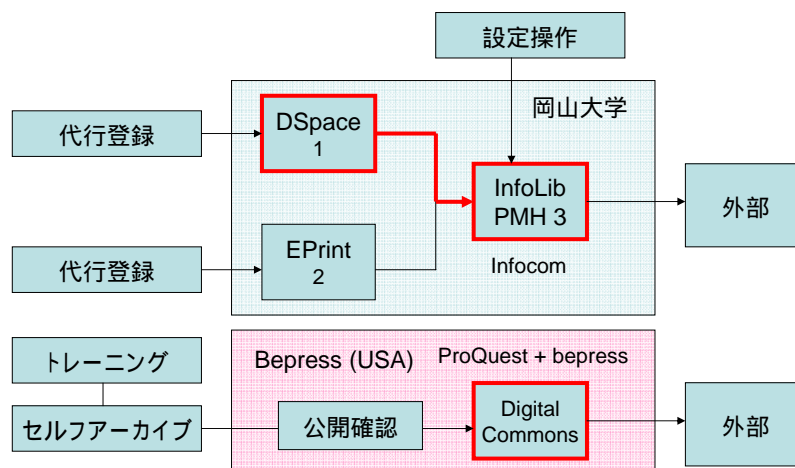
岡山大学学術成果リポジトリ

Okayama University Digital Information Repository



	リポジトリ構成	階層構造	登録対象資料
世界	英文研究成果リポジトリ eScholarship@OUDIR Digital Commons@	著者単位 個人の同意のもとに、英文で書かれた研究成果(査読論文等)を保存するための研究者個人向け電子キャビネットとして提供する。海外研究者への可視性を重視する。	英文で書かれた学術成果 ●リサーチペーパー ●ポストプリント、プレプリント ●研究報告書論文 ●ワーキングペーパー ●テクニカルレポート ●学内出版物(英文査読誌、図書)
日本	研究成果リポジトリ EPrints@OUDIR Eprints オープン版から構築中	著者単位 個人の同意のもとに、日本語等で書かれた研究成果を保存するための電子キャビネットとして提供する。国内研究者への可視性を重視する。	英文以外で書かれた学術成果 ●リサーチペーパー ●ポストプリント、プレプリント ●研究報告書(科研) ●ワーキングペーパー ●テクニカルレポート ●学内出版物(紀要類)
地域	岡山大学広報用リポジトリ DSpace@OUDIR DSpace1.3.2 オープン版から構築	部局単位 部局で作成した広報物や日本語学術出版物を登録する。地域への可視性を重視する。	言語は問わない。 ●広報用資料 ●ポスター ●学内紀要 ●コレクションや標本 ●画像データや音声データ

OU-DIRシステム構成(全体イメージ)



岡山大学学術成果リポジトリ

Okayama University Digital Information Repository



	リポジトリシステム	サーバ機種
1	Dspace用サーバ リポジトリ機能のみ インストール:岡山大学 ソフト保守サポート:インフォコム	[メーカー・モデル] IBM xSeries206(84824GJ) [CPU] Pentium 4(Intel EM64T)3.20EGHz/800MHz x 1 [メモリー] 1.0GB DDR Memory (512MBx2) [HDD] 160GB 7.2K SATA x 2 [RAID] 標準 オンボード(RAID1機能付) [OS] Fedora3+PostgreSQL+Dspace1.3.2+Tomcat5
2	EPrints用サーバ リポジトリ機能のみ インストール:岡山大学 ソフト保守サポート:なし	[メーカー・モデル] IBM xSeries206(84824GJ) [CPU] Pentium 4(Intel EM64T)3.20EGHz/800MHz x 1 [メモリー] 1.0GB DDR Memory (512MBx2) [HDD] 160GB 7.2K SATA x 2 [RAID] 標準 オンボード(RAID1機能付)
3	InfoLib PMH用サーバ リポジトリ&ハーベスト機能 インストール:インフォコム ソフト保守サポート:インフォコム	[メーカー・モデル] DELL PowerEdge830 [CPU] インテル(R)Celeron(R)Dプロセッサ326 (2.53GHz, 256KBL2Cache, EM64T, 533MHz FSB) [メモリー] 2.0GB (4x512MB) 1RDDR2/533MHz ハッパ無し SDRAM DIMM ECC [HDD] 160GB シリアルATA ハードディスクドライブ (7200回転) [OS] Red Hat Enterprise Linux 3 ES

岡山大学学術成果リポジトリ

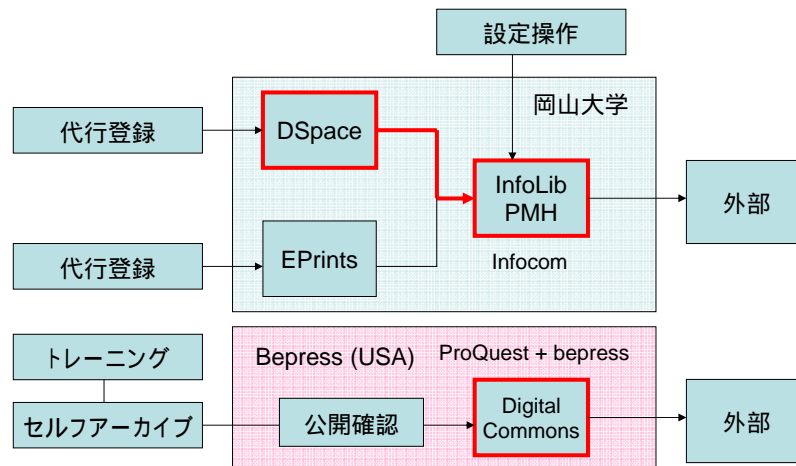
eScholarship@OUDIR

海外研究者にアピールすべき英文査読論文を収集・蓄積し、個人や分野毎にコンテンツをブラウザできるシステムを構築するとともに、海外研究者が頻繁に利用するであろう外部データベースや検索エンジンにコンテンツをハーベストしてもらい、研究成果の利用促進をはかる。

Okayama University
Digital Information Repository



OU-DIRシステム構成(全体イメージ)



ProQuest Digital Commons@

- BepressによるProquest社機関リポジトリ・ホスティング製品(年間契約)
- 米国、英国、オーストラリアの大学で導入事例(約60機関)
http://www.proquest.com/products_umi/digitalcommons/default.shtm/#repositories
- 導入決定から運用開始まで約1ヶ月~2ヶ月
- Digital Commons@ 製品範囲
 - セットアップ、サイトデザイン
 - トレーニング(管理者向け、研究者向け)
 - サポート
 - ドキュメンテーション
 - アップグレード
 - ホスティング
- URLは学内当該DNSのCNAME設定によって、あたかも学内にサーバがあるかのようにみせかける。(http://escholarship.lib.okayama-u.ac.jp)
- メタデータの日本語対応はしていない(ProQuestに要望中)。
- 研究者個人個人のショーケースとして利用できる。

Digital Commons@サポート体制

- Proquest – Cambridge, England
南北アメリカを除く地域の運用開始に向けた導入準備、トレーニングやドキュメンテーションは、英国Proquest社が担当する。
- Bepress - CA, USA
技術的な内容(ホスティング、サポート、アップグレード)や初期設定は、Bepressが担当する。
- Proquest Japan, 横浜, JAPAN
日本国内における導入機関のサポートを担当する。

Digital Commons@コスト(経費)

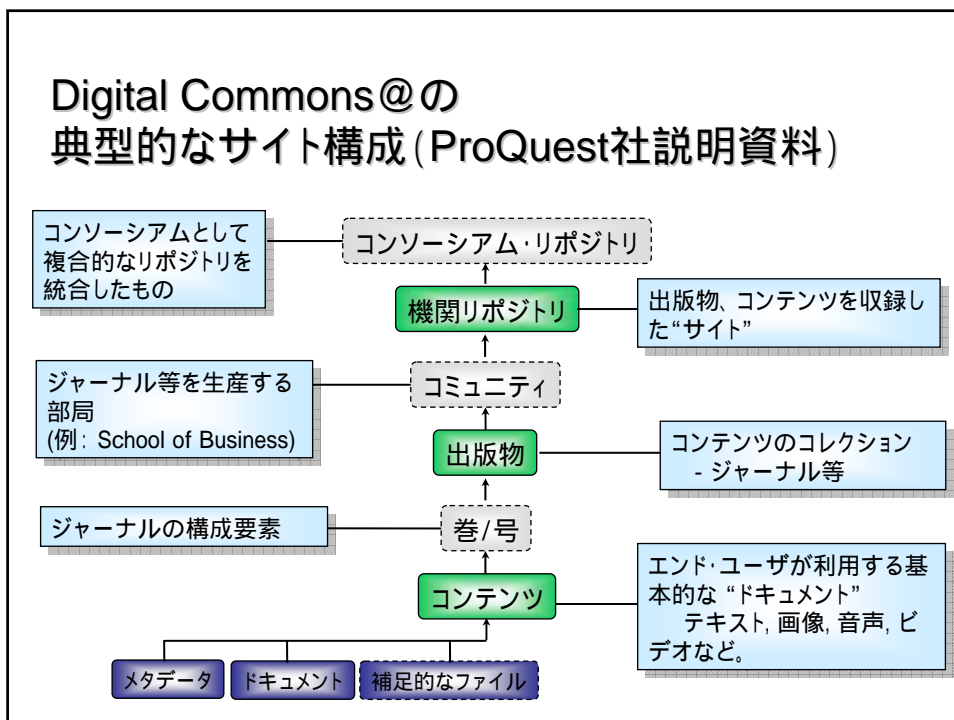
- 必要経費(ProQuest社資料より)
 - Latest JISC report states on average £80,000 set up costs for a repository plus approx. £40,000 maintenance costs per year
 - House of Commons Scientific Committee report indicated running costs @ £31,300 per institution per annum, excluding set-up costs
 - Digital Commons subscription starts from \$19,900 per year (機関規模によって定まる)
 - 複数機関によるコンソーシアム割引も可能

Digital Commons@導入スケジュール

- 基本コンセプトの作成
- 導入の決定
-
- CNAMEの設定
- 画面デザインから作成まで(約2週間)
- 管理者トレーニング(1日)
- 研究者・代行登録担当者トレーニング(2日間/回)
-
- 広報活動、啓蒙活動(継続)
収集キャンペーンやトレーニングの徹底する

Digital Commons@トレーニング

- 管理者(図書館員)用トレーニング
Microsoft Livemeetingと国際電話を使って行った。
Digital Commons: 概要と構造
Digital Commons: 管理者機能
(約1時間)
- 研究者・代行登録担当者向けトレーニング
(6月1日～2日 岡山大学で実施予定)
専任講師と通訳が大学に来て行う。
Digital Commons投稿方法
(約1～2時間/回)



DSpace vs Digital Commons比較

Feature	DSpace	Digital Commons
Documentation		
Automatic Word, WordPerfect, and RTF Conversion to PDF 投稿時のワード文書のPDFへの自動変換 (日本語未対応)	No	Yes
Publish Variety of File Types (さまざまな種類のファイルタイプをリポジトリ登録する機能)	Yes	Yes
Access Control (アクセスコントロール)	Yes	Yes
Searching		
Full-Text Searching (全文検索)	Yes	Yes
Saved Searches With Email Notifications (アラート機能)	No	Yes
Browse by Collection (コレクションの通覧)	Yes	Yes
Search Fields (検索フィールド)	Author Title Keywords	Full Text, Keywords, Subject Area, First Name, Last Name, Corporate Author, Date, Title, Publication Title, Abstract

次ページに続く

DSpace vs Digital Commons比較

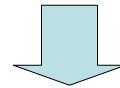
Feature	DSpace	Digital Commons
Customization		
Controlled Vocabulary Picklists for keyword and Subjects Area fields (分野やキーワードリストのメンテナンス)	No	Yes
Randomly Generated "Paper of the Day" (その日に登録されたメタデータの表示)	No	Yes
Administrator Tools		
Usage Statistics (メタデータの利用統計: 日付「年月日・年月」、 タイプ「抄録ページ、全文ダウンロード、検索回数」、出力方法 「印刷、ファイル出力」)	No	Yes
Peer Review Module (査読を行うためのモジュール)	No	Yes
Data Harvesting		
Export as XML (XML形式でメタデータをエクスポート)	Yes	Yes
OAI Compliant (OAI-PMH対応)	Yes	Yes
Support		
Technical Support (Bepressによるテクニカルサポート)	No	Yes
Training (ProQuest トレーナーによる講習会の実施サポート)	No	Yes
Hosting (コンテンツのホスティングサポート)	No	Yes
Ongoing Software Development (新しい機能への自動適用)	No	Yes

Digital Commonsを利用した 研究者を対象とした個人成果情報キャビネットページ



ペンシルベニア大学
ScholarlyCommons@Penn

個人向け成果情報ページを
Digital Commonsで
作成・公開している



外国人研究者から見て、本学
研究者がどのような研究を行
っているかを一目瞭然に判断
できるようにする。

岡山大学学術成果リポジトリ

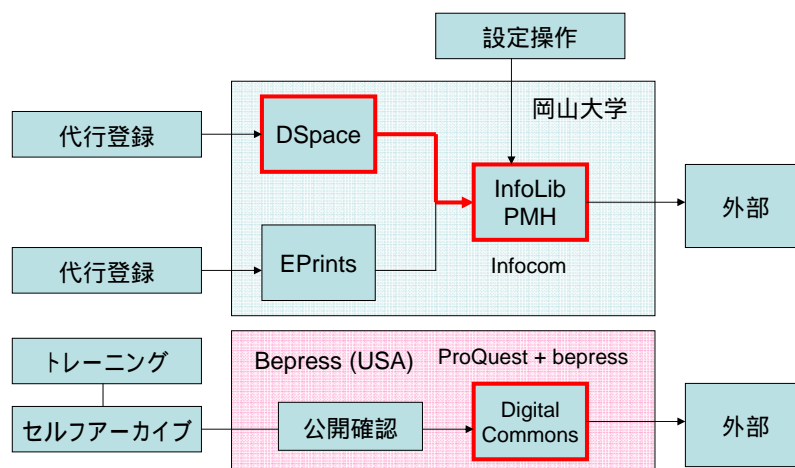
Dspace/Eprints@**OU-DIR**

国内研究者や地域にアピールしたい研究成果や広報物を収集・蓄積して
いるリポジトリからメタデータをハーベストするとともに、国内研究者
や地域の発信拠点である国立情報学研究所や岡山県立図書館からのハー
ベストにコンテンツの受け渡しを行う中間リポジトリを作成する。

Okayama University
Digital Information Repository



OU-DIRシステム構成(全体イメージ)



InfoLib-PMH(インフォコム)

- 岡山大学では、外部リポジトリへの公開用に活用。
- インフォコムによる統合検索パッケージの中の一つ

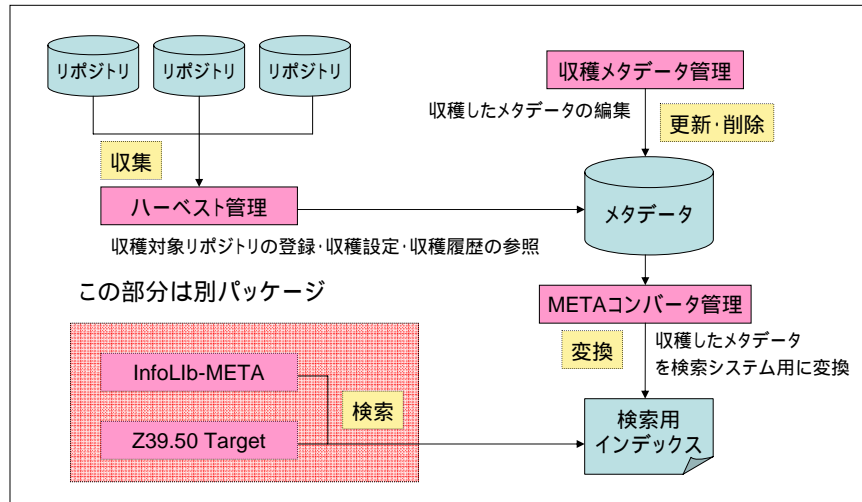
InfoLib-META メタデータの統合検索
未導入につき、今後計画的に導入したい
 InfoLib-USER ユーザ登録、ユーザ権限の管理

**InfoLib-PMH OAI-PMHによる相互活用
 ハーベスト機能/リポジトリ機能**

- インフォコム製品は買取り(保守は、毎年別途必要)
- InfoLib+PostgreSQL+Tomcat+Apache2で動作
- 導入事例：岡山県立図書館 「デジタル岡山大百科」
 岡山県立博物館 「デジタルミュージアム」
 岡山県立記録資料館 「所蔵資料」

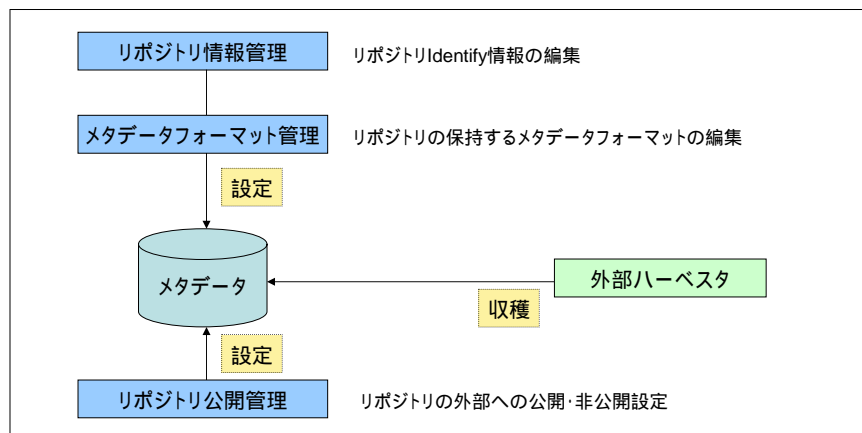
InfoLib-PMH(ハーベスト機能)

- ハーベスト機能
外部リポジトリのメタデータを収穫するための機能



InfoLib-PMH(リポジトリ機能)

- リポジトリ機能
メタデータをXML形式で蓄積するための機能
外部ハーベスタからの収穫に対応する機能



InfoLib-PMH (画面遷移図)

